

## ⑫ 実用新案公報 (Y2) 平3-30101

⑬ Int. Cl.<sup>9</sup>  
A 61 F 5/453  
// A 61 F 13/15

識別記号 廃内整理番号  
7603-4C  
6606-3B A 41 B 13/02

⑭ 公告 平成3年(1991)6月26日

A  
(全3頁)

## ⑮ 考案の名称 吸尿袋

⑯ 実 願 昭61-32059 ⑯ 公 開 昭62-145610  
⑯ 出 願 昭61(1986)3月6日 ⑯ 昭62(1987)9月14日

⑰ 考案者 加藤 建男 愛媛県新居浜市字高町4丁目7番16号  
⑰ 考案者 山脇 嘉文 大阪府大阪市東区伏見町5丁目1番地 明和産業株式会社  
大阪支店内  
⑰ 出願人 株式会社 ララ 愛媛県新居浜市大生院161番地  
⑰ 出願人 明和産業株式会社 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号  
⑰ 代理人 弁理士 河崎 真樹  
審査官 石井 邦久  
⑯ 参考文献 実開 昭60-69114 (JP, U) 実開 昭56-129904 (JP, U)  
実開 昭60-58123 (JP, U)

1

2

## ⑰ 実用新案登録請求の範囲

合成樹脂製薄膜と不織布とを接合した防水用層状薄膜体と表面紙との間に、二つの薄紙の間に液体高吸収ポリマーと消臭剤との混合物を充填した層状シートとクツション用綿とを層状にして挿入した積層状構造物を、ギヤザー付袋状に形成し且つ裏面に両面接着テープを貼り付けたことを特徴とする吸尿袋。

## 考案の詳細な説明

## 〔産業上の利用分野〕

この考案は、失禁患者や寝たきり老人など自分の意志で便所へ行き尿を処理することの出来ない人のための男性用吸尿袋に関する。

## 〔従来技術とその問題点〕

近年老人人口の増加、高度情報化社会の到来による精神的圧迫などに起因する非尿神経失調症、あるいは病気による感覚麻痺等が原因で、成人用紙オムツの使用量が毎年増えている。

従来から使用されているオムツは、その構造が下に布を置きその上にガーゼと不織布などを乗せて当てるものの他、近時は紙オムツで、水分を吸収する部分と蒸れ防止用の部分と水分の漏れ防止用のシートなどを組合せたものなどを腰廻り全

体を包むように当てその上をカバーなどで覆つて紐やバンドなどで結ぶ方式のものが殆どである。

しかしこれらはいずれも嵩高で且つなお大きくなるので寝たきりの人ならいざ知らず、日常の生活や仕事で動き回る人にとっては使用に際しかなりの抵抗感があることは否めない。

例えば尿が出る感覚のみが麻痺し、その他の事は変わりなく仕事をしている人達(失禁者)にとって成人用オムツをして外出した場合、腰まわりが大きくなりごわごわして歩き難いばかりでなく、カサカサ音がする為周囲の人に気を配らなければならず外出するのが億劫になつてくる。

またオムツは一枚当たり市販の物で、重さは60~70g、大きさは厚さが1~2cm巾30cm長さ70cm位あるので、これを使用後廃棄処理する場合大変苦労するという問題がある。

## 〔考案の目的〕

この考案は上記の点に鑑みてなされたものでありその目的とするところは、寝たり老人や寝たきりの病人のみでなく、日常の生活や仕事で行動する特に男性の失禁者が外出しても他人を気にすることなく尿を処理し且つ簡単に廃棄することが出来る取替自由で且つ脱着自在な吸尿袋を提供しよ

うとするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案は、上記問題点を解決するために、吸尿袋が、合成樹脂製薄膜と不織布とを接合した防水用層状薄膜体と表面紙との間に、二つの薄紙の間に液体高吸収ポリマーと消臭剤との混合物を充填した層状シートとクツション用綿とを層状にして挿入した積層状構造物を、ギヤー付袋状に形成し且つ裏面に両面接着テープを貼り付けたことを特徴とする。

〔実施例〕

次にこの発明の実施例について第1図乃至第5図を参照して説明する。

第1図はこの考案にかかる積層状の構造を有する吸尿袋の縦断面図であり、第2図は第1図のP部拡大図である。第2図において、1は合成樹脂製薄膜1aと不織布1bとをラミネートした防水用層状薄膜体である。2は薄紙2a二枚の間に液体高吸収ポリマーと防臭剤とを混合した充填物2bとなりなる層状シートである。3はクツション綿であり、4は表面紙である。

尚、上記の積層状の構造体において、薄紙2aはなるべく吸水性の高いものを使用する。液体高吸収ポリマーとしては例えば、デンブン又は石油を原料として合成したものなどがあり、防臭剤としては例えば活性炭または植物から抽出したもの或いは酸化鉄等がある。またクツション綿3は普通の脱脂綿でも良いし、あるいは吸収性の良い化繊でも良い。

以上のような構成を有する積層状の構造体において、人体から出た尿は、表面紙4より浸透してクツション綿3を通り薄紙2aに浸透して液体高吸収ポリマーと消臭剤とを混合した混合物の充填層2bに至る。ここでは、数回失禁した分を充分吸収する。そしてこの充填層が高湿度状態になつても防水用層状薄膜体1があるので水分が外へ漏れることはない。クツション綿3は人体へ直接異物が当たつた場合の擦過力などを緩和する役目をする。

次にこの積層状構造体を実際使用する場合について説明する。第1図に示すように、上記の積層状構造体の厚さは実際はかなり薄く出来るので、折り返して重ねるか2個打ち抜き表面紙4が内側になるように重ね、上に重ねた端の部分が挿入口

6（第4図又は第5図参照）となるようにし、また重ねたときの大きさが、丁度成人男性の股間前部を覆う程度の大きさとする。そして周囲を熱シールするか或いは接着剤でくつける。そして第5図に示すように片面の適當な所を前記する挿入口6とし、もう一方の片面には第3図に示すように両面接着テープ5を付け下着に固定出来るようにするものである。尚、第5図に示すように挿入口6には、挿入したときなるべく抵抗感10がないようにギヤー7を付けても良い。

この考案の詳細は以上のようにあるが、図示例のものに限られないのは勿論であり、技術的思想の創作として同一の範囲で種々変形が可能である。例えば形状は図示例のものに限らず、瓢箪形や長方形のものでも良いし、合成樹脂製薄膜1aは防水出来且つ柔らかいものであれば良い。

〔考案の効果〕

以上詳述したように、この考案は、合成樹脂製薄膜と不織布とを接合した防水用層状薄膜体と表面紙との間に、二つの薄紙の間に液体高吸収ポリマーと消臭剤との混合物を充填した層状シートとクツション用綿とを層状にして挿入して積層状とした構造の吸尿袋であることを特徴としたので、この考案の吸尿袋を使用すれば次のような特有の効果がある。

(1) この吸尿袋を着用することによって股間前部のみに吸尿袋が納まり歩行になんの支障がない為、従来外出することが億劫であつた男性でも外で活発に活動することが出来る。

(2) 脱着自在であり、どこでも自由に交換使用することが出来る。そして使用後の廃棄処理についても非常にコンパクトなものであるから問題なく適切な所に捨てることが出来る。

(3) 更に、消臭剤を混合或いは添加する事により小便臭を除去する事が出来るので、周囲の人々に異臭を感じられたり、また不快感を与えることもなくなる。

(4) 寝起きり老人や病人にとつても必要な場合以外は、自分で簡単に始末出来るので他人にオシメの交換を依頼しなくともよくなる。

以上のようにこの考案は、失禁患者等が尿を処理する上で従来にない優れた特徴をもつており極めて便利である。

5

6

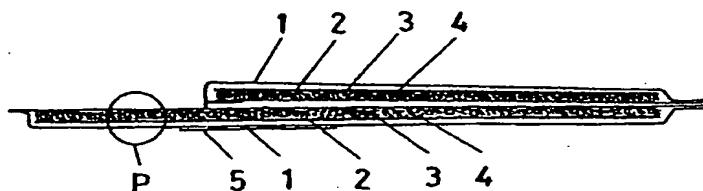
**図面の簡単な説明**

第1図はこの考案にかかる積層状構造体を吸尿袋として作った場合の縦断面図、第2図は第1図のP部拡大図、第3図は吸尿袋の下側から見た図で両面接着テープを付ける側の図、第4図は人体に当てる側に上側から見た図、第5図は吸尿袋を

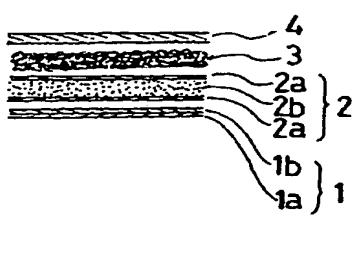
当てる人体側の斜視図をそれぞれ示す。

1…防水用層状薄膜体、1a…合成樹脂性薄膜、1b…不織布、2…層状シート、2a…薄紙、2b…高吸収ポリマーと消臭剤との混合物、5…クッション綿、4…表面紙、5…両面接着テープ、6…挿入口、7…ギャザー。

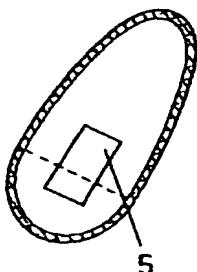
第1図



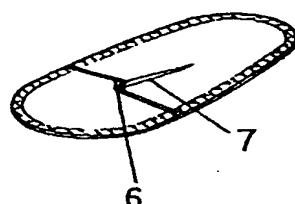
第2図



第3図



第5図



第4図

